

第9回子どものからだと心・西日本研究会議

子どものからだと心の危機の克服をめざして
～人類の知恵を集めて子どもをいきいきさせよう～
— Active Living —

ごあいさつ

「子どものからだと心・連絡会議（顧問：正木健雄氏）」は昭和54年(1979)年に、子どもの抱えるからだの問題やおかしさを、皆の力と知恵で解いていこうとスタートし、毎年、全国研究会議をひらき研究協議を進めています。また、より広く全国の多くの方々との意見交換をという主旨で、東日本と西日本に分かれ「研究会議」も開催しております。今回の「西日本研究会議」は、前回に引き続き岡山県（中国学園大学・中国短期大学）で開催させていただきます。

第9回大会で企画しています主な内容は、野井真吾議長ならびに白書編集委員からの“子どものからだと心 白書”の報告をしていただいた後、昨年末の全国会議でも話題となりました福島原発事故に端を発して社会問題となっている放射性物質拡散の問題について西日本でできる被災者支援の問題について考えてみたいと思います。今回は、岡山県内に避難してきた方々を対象とした調査を精力的に実施し、避難されてきた方々が直面している問題に真摯に向き合われている岡山理科大学非常勤講師の緒方清隆先生による膨大な調査結果に基づいてご講演いただき、岡山で被災者支援活動に取り組まれている方々からも現状とこれからの課題等についてお話していただく予定になっております。

21世紀は、20世紀が「戦争の世紀」になってしまったことを反省して、「平和の世紀」「子どもの世紀」を実現することに希望を膨らませてスタートした世紀でした。野井真吾議長は、『真の「子どもの世紀」を実現するためには、私たち連絡会議の活動がますます必要であり、今までにもまして不可欠である。』と決意を述べています。

どうかこの「第9回子どものからだと心・西日本研究会議」で“子どもの問題”を解決する糸口を参加者全員で“ワイワイ、がやがや”と意見交換しながら掴んでくださることを期待し、多くの皆様のご参加を心からお待ちしております。

子どものからだと心・西日本研究会議

第9回子どものからだと心・西日本研究会議

会 長 岩佐 仁志（ソワニエ看護専門学校）
実行委員長 土田 豊（中国短期大学）
副実行委員長 有木 信子（作陽保育園）

日 時 : 平成27年6月7日（日）午前10時30分（受付10時～）
会 場 : 中国学園大学・中国短期大学 〒701-0197 岡山市北区庭瀬83番地
主 催 : 子どものからだと心・西日本研究会議
共 催 : 子どものからだと心・全国研究会議、中国学園大学・中国短期大学
後 援 : 岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、倉敷市教育委員会

第9回子どものからだと心・西日本研究会議

子どものからだと心の危機の克服をめざして
～人類の知恵を集めて子どもをいきいきさせよう～
—— Active Living ——

開催日時 : 6月7日(日) 10:30 開会 16:15 閉会
開催場所 : 中国学園大学・中国短期大学 (〒701-0179 岡山市北区庭瀬 83 番地)
主催 : 子どものからだと心・西日本研究会議
共催 : 子どものからだと心・連絡会議, 中国学園大学・中国短期大学
後援 : 岡山県教育委員会, 岡山市教育委員会, 倉敷市教育委員会

日 程

10:00～10:30 ～ 10:45 ～ 12:45～13:45 ～ 15:45 ～ 16:00
受付 開会行事 講演会①・意見交換 昼食 講演会②・意見交換 閉会行事

内 容

【第1部】教育講演会①・意見交換

○『子どものからだと心白書2014』に収められている子どものからだと心に関する最新のデータを編集に携わった委員の方から解説・報告していただきます。その報告を受け、現場での実感や実践等も交えながら議論したいと思います。

→



解説・報告 : 野井真吾 氏

(子どものからだと心・連絡会議 議長、日本体育大学 教授)
著書の新版「からだのおかしさを科学する」を出版し、「子ども」・
「からだ」・「心」・「自律神経機能」をキーワードに研究活動や講演活動
を行う。
(子どものからだと心 白書委員からの解説・報告)

【第2部】教育講演会②・意見交換

○東日本大震災から4年、被災地から遠く離れた西日本には、震災に端を発した福島第1原発事故による放射能汚染問題で悩み、苦しんでいる家族が多く避難してきています。緒方氏の調査によると避難により外部被ばくの心配はなくなったものの、子どもが新しい環境になじめず不登校になっている、内部被ばくを警戒し学校給食に対する安全性を求める、周囲に精神的なよりどころがなくストレスを抱え虐待にまで発展しているなど二次的・三次的な問題が起きて始めています。そこで、西日本研究会議としては、まずこの現実気づき、今後できる支援について参加の皆様と考え、意見交換ができればと思います。

→ 講演 : 『東日本大震災これからの被災者支援—西日本ができること・やるべきこと—』

○岡山県内への避難者の現状と課題 緒方清隆 氏 (岡山理科大学非常勤講師)

○被災者・支援者の声 はっとりいくよ氏 (ほっと岡山)

○学校給食の放射性物質モニタリング調査 藤井久美 氏 (総社東学校給食共同調理場所長)

費 用

○参加費 : 一般参加 1,000 円 (会員 700 円, 学生 300 円, 高校生以下無料)

○託 児 : 500 円/人 (保険料)

○『子どものからだと心 白書』代 : 2,000 円 (希望者のみ)

※教育講演会①をより深く理解するためにもご購入されることをお勧めします。

○昼食弁当代 : 700 円 (お茶付、希望者は事前申し込み必要)

○懇親会費 : 5,000 円 (参加の方は事前申し込みが必要)

※研究会議前日の6日(土)に、緒方清隆先生、野井真吾先生を囲んだ懇親会を予定しております。
参加を希望される方には、追って詳細について連絡させていただきます。

その他

◆託児 (3歳～小学校低学年) : 午前のみ 午後のみ 全日 の3パターンで実施します。

